

資料7-1 県への応援要請文書

(災害対策基本法第68条に基づく県への応援の要求)

年 月 日

鹿児島県知事

様

曾於市長

印

災害対策基本法第68条に基づく応援の要求について

標記について、下記のとおり応援を要求します。

記

- 1 災害の状況
- 2 応援（応援措置の実施）を要請する理由
- 3 応援を希望する物資、資材、機械、器具等の品名及び数量
- 4 応援（応援措置の実施）を必要とする場所
- 5 応援を必要とする活動内容（必要とする応急措置内容）
- 6 その他必要な事項

資料7-2 自衛隊への災害派遣要請関係文書

(その1 災害派遣要請依頼文書)

		第	号
		年	月 日
鹿児島県知事			
様			
		曾於市長	印
自衛隊の災害派遣要請について（依頼）			
このことについて、自衛隊法第83条第1項の規定による自衛隊の災害派遣の要請を、下記のとおり依頼します。			
記			
1 災害の状況及び派遣を要請する事由			
(1) 災害の状況			
(2) 派遣を要請する事由			
2 派遣を希望する期間			
年 月 日 (時 分) から災害応急対策の実施が終了するまでの間			
3 派遣を希望する区域及び活動内容			
(1) 活動希望区域			
(2) 活動内容			
4 その他参考とすべき事項			

(その2 災害派遣部隊の撤収依頼文書)

		第	号
		年	日
鹿児島県知事			
様			
		曾於市長	印
自衛隊の災害派遣部隊の撤収要請について（依頼）			
年	月	日付第	号で依頼したこのことについては、下記のとおり派遣部隊の撤収要請を依頼します。
記			
1	撤収日時	年	月 日 時 分
2	撤収理由		
3	その他必要事項		

資料7-3 市内の公共的団体等への協力依頼文書

年 月 日

様

曾於市長

印

災害応急対策活動・復旧活動への協力をお願いについて

今般の災害に係る災害応急対策活動・復旧活動について、下記のとおりご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 協力を必要とする理由
- 2 従事場所
- 3 作業内容
- 4 人 員
- 5 従事時間
- 6 集合場所
- 7 その他参考となる事項

整理番号()

()自治会 災害報告シート (自治会長名:)

※印は必ず記入してください。

1. 災害発生年月日 令和 年 月 日 (電話) - -
2. 被害を受けた方 ※ 氏名 ※ 連絡先(携帯) - -
- 住所 番地
3. 被災箇所
(災害を受けた場所) 曾於市 町 大字 番地 ←地番の記入をお願いします。
4. 申出内容 下記の内容を分かる範囲で記入してください。

◆内容

※(対象)当てはまる項目を○で囲んでください

道路・河川・水路(用水・排水)・田・畑・宅地・その他()

※(状況)当てはまる項目を○で囲んでください

崩土・倒木・路肩決壊・水路決壊・法面崩壊・護岸決壊

埋没・流出・その他()

※(規模)数量を分かる範囲で記入してください。

長さ m , 高さ m , 崩土量 m³ , 面積 m² , 倒木 本

— メモ —

◆位置図/見取り図

※位置図

(災害場所の位置をわかりやすく記入してください。)

見取り図

◆災害調査担当職員(自治会相談員)に連絡するか、土木課・耕地林務課へ提出して下さい。

問合せ先 土木課:0986-76-8811 耕地林務課:0986-76-8810

災害調査担当職員名() ←(自治会長様による記入は不要です)

[illegible]

以下に、解っている範囲で良いので内訳を記載してください。

被害番号	死者・行方不明者・重傷・軽傷の区別	性別	年齢	氏名	地区	負傷の状況	その他(負傷時の状況、搬送、入院等)
例	重傷	男	62	鹿見島太郎	〇〇	大腿骨骨折	屋敷の雑草中に風にあおられて転落。病院へ搬送

⑤孤立化地区								
No	地区名	孤立した日時 (隔年て良い)	孤立した理由	孤立者		通信手段の有無	その他孤立地区の状況 補足説明	孤立解消 日時
				世帯数	人数			
1								
2								
3								
4								
5								

⑥滞留の状況							
No	地区名	世帯数	滞留人数	滞留開始日時	滞留理由	滞留所	滞留終了日時
合計		0	0				

③災害対策本部等設置状況		No		地区名	設置場所 主棟数	設置 日時	設置理由	避難所 日時
災害警戒本部	設置日時	廃止日時(移行日時)						
災害対策本部	設置日時	廃止日時(移行日時)			0	0		
				合計				

その他、上記以外の被害で停電や、断水戸数等わかっているものがあれば記入してください。

【様式 1】

(災害対策本部設置報告用)

(管轄地域振興局・支庁) 宛て

FAX :

災害対策課 宛て

FAX : 0 9 9 - 2 8 6 - 5 5 1 9

災害対策本部等の設置等について

市 町 村 では

____月 ____日 ____時 ____分

災害 警戒 設置
本部 しました。
対策 解散

以上報告します。私は、

____市 町 村 ____課 職・氏名 ____です

様式 2 (市町村→県・関係放送各社)

避難指示等発令情報 (第 報)

枚中 枚目

(市町村名)

送付日時： 月 日 時 分

1 避難情報の別

() 避 難 指 示

() 高 齢 者 等 避 難

2 発 令 時 刻 時 分

3 対 象 地 域 等 地区 世帯 名

4 避難すべき理由

5 その他避難行動にかかる特記事項

☐

☐

☐

発信者氏名

電 話

F A X

(県 連絡先)

災害対策課長 電話 099-286-2276

F A X 099-286-5519

広 報 依 頼 書

広報依頼者	年 月 日 所属(班) 氏名()	
希望広報手段	☐ コミュニティFM ☐ 防災メール ☐ その他()	
広報希望時間帯	月 日 午 前 中 ・ 13時～15時 ・ 15時～17時	
広報実施場所	全市 地域()	
区 分 (右欄□にチェックして下さい)	☐ 避難情報の発表・発令 ☐ 人的、建物被害、公共施設、公共土木施設の被害状況 ☐ ライフラインの被害状況と使用に関する注意 ☐ 交通規制情報 ☐ 鉄道、バス等の運行状況に関する情報 ☐ 避難所に関する情報 ☐ 医療施設に関する情報	☐ 住民等の安否確認 ☐ 水や食料、生活物資供給に関する情報 ☐ 保育園の休園や学校の休校等に関する情報 ☐ 社会福祉施設等の稼働状況、受入れ状況に関する情報 ☐ 災害廃棄物の処理に関する情報 ☐ 被災相談に関する情報（り災証明書の発行） ☐ 生活再建に関する情報（生活再建支援制度） ☐ その他、必要な情報
内 容 (伝達してほしい文章を具体的に記載してください)		
備 考		

※住民への広報を希望する際は、上記を記載し、総務班に提出してください。

広報連絡班 記入欄			
広報日時	月 日	AM・PM	時 分
広報手段	☐ コミュニティFM ☐ 防災メール ☐ その他()		

資料 7-9 水防活動実施状況報告書

水 防 活 動 実 施 状 況 報 告 書

曾於市長

印

天 気 の 状 況 (台 風 名 又 は 豪 雨 名)				指 定 非 指 定 の 別									
出 水 の 状 況								区 分		管 理 団 体 分 円	県 支 出 分 円	合 計 円	
水 防 実 施 の 場 所								所 要 経 費	人 件 費	手 当			
										そ の 他			
日 時		自 月 日 時 時間 至 月 日 時								計			
出 動 人 員		水 防 団 員 人	消 防 団 員 人	そ の 他 人	計 人				物 件 費	資 材 費			
											器 材 費		
											燃 料 費		
											雑 費		
											計		
水 防 作 業 の 概 況 及 び 工 法、延 長								合 計					
水 防 の 結 果	効 果	堤 防 m	田 ha	畑 ha	家 戸	鉄 道 m	道 路 m	使 用 資 材	(具体的資材名)	単 位			
	被 害	m	ha	ha	戸	m	m		(具体的資材名)	円	円	円	
	被害額	円	円	円	円	円	円		(具体的資材名)	円	円	円	
	他の団体より の応援状況								その他	円	円	円	
一般住民の 出動状況								立退きの状況及びそれ を指示した理由					
警 察 の 援助状況								水防功労者の年齢及び 所属並びに功績概要					
現 地 指 導 員 の 職 氏 名								堤防その他の施設等の 状況、異常を生じたと きはその場所及び状況					
								今後の水防活動上考慮 すべき点とその他の活 動所見					
水 防 関 係 者 の 死 傷								備 考					

資料 7-10 緊急通行車両等事前届出書

地震防災 災害応急対策用 原子力災害 国民保護措置用		緊急通行車両等事前届出書 年 月 日 鹿児島県公安委員会 殿 申請者住所 (電話) 氏 名 印	
番号標に標示されている番号 (登録番号)			
車両の用途 (緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名)			
使用者	住 所	(電話)	
	氏 名		
出 発 地			
(注) この事前届出書は1部作成して、当該車両を使用して行う業務の内容を疎明する書類を添付の上、車両の使用の本拠の位置を管轄する警察署に提出してください。			
地震防災 災害応急対策用 原子力災害 国民保護措置用		第A— 号 緊急通行車両等事前届出済証 上記のとおり事前届出を受けたことを証する。 年 月 日 鹿児島県公安委員会 印	
(注) 1 大規模地震対策特別措置法、災害対策基本法、原子力災害対策特別措置法又は武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づく交通規制が行われたときには、この届出済証を最寄りの警察本部、警察署、交通検問所等に提出して所要の手續を受けてください。 2 届出内容に変更が生じ、又は本届出済証を亡失し、汚損し若しくは破損した場合には、公安委員会 (警察署経由) に届け出て再交付を受けてください。 3 次に該当するときは、本届出証を返還してください。 (1) 緊急通行車両等に該当しなくなったとき。 (2) 緊急通行車両等が廃車となったとき。 (3) その他緊急運行車両等としての必要性がなくなったとき。			

備考 1 届出者は、氏名を記載し、及び押印することに代えて、署名することができる。
 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4番とする。

資料 7-11 緊急通行車両等確認申請書

年 月 日 緊急通行車両等確認申請書 鹿児島県公安委員会 殿 申請者 住 所 氏 名 電話番号 印			
番号標に標示 されている番号 (登録番号)			
輸送人員又は 積 載 物			
使 用 者	住所 氏名		
輸 送 日 時	年 月 日 時から 年 月 日 時まで		
輸送（通行） 経 路	出 発 地	経 由 地	目 的 地
備 考			

避難者カード

避難所名		No		避難所組名	
世帯代表者氏名	住所			氏名	
	自治会名				
入所年月日	年 月 日 電話 携帯電話	— —	車種・色 ナンバー	続柄	電話
家屋の被害状況	全壊・半壊・一部損壊 断水・停電・ガス停止・電話不通			車	
世帯構成	氏名	性別	続柄	避難状態 ア避難所 イテント ウ車 エ帰困者 オその他	災害時要支援者
				要介護 度区分 ／ 障害の 種類・ 程度	既往歴
					常備薬
					かかり付け病院・医師
					ご家族に入れ歯や眼鏡の不備、病気等の特別な配慮を必要とする方が居る等注意点があらお書き下さい。
③	他からの問合せがあった時、住所、氏名を公表しても良いですか？ ☐ 良い ☐ 良くない				
④	備考：伝言等ありましたら、ご記入ください。				
退所年月日	年 月 日	退所先住所（氏名）			登録
		退所先電話			退所

※太枠部分は市で記入

避難者調べ

災害名													① 課(局) (/ , : ~ / , :	
施設名													② 課(局) (/ , : ~ / , :	
開設日時	令和 年 月 日 分												③ 課(局) (/ , : ~ / , :	
	午前・午後												④ 課(局) (/ , : ~ / , :	
閉設日時	令和 年 月 日 分												⑤ 課(局) (/ , : ~ / , :	
	午前・午後												⑥ 課(局) (/ , : ~ / , :	

番号	避難時刻	帰宅時刻	自治会名	世帯主	氏名	年齢	性別	TEL	番号	避難時刻	帰宅時刻	自治会名	世帯主	氏名	年齢	性別	TEL
1	: :								16	: :							
2	: :								17	: :							
3	: :								18	: :							
4	: :								19	: :							
5	: :								20	: :							
6	: :								21	: :							
7	: :								22	: :							
8	: :								23	: :							
9	: :								24	: :							
10	: :								25	: :							
11	: :								26	: :							
12	: :								27	: :							
13	: :								28	: :							
14	: :								29	: :							
15	: :								30	: :							

※避難者数(世帯数・人数)は、1時間毎にLoGoチャットにて報告してください。(緊急連絡先:危機管理室直通 0986-76-8876)

なお、21時の定時報告後は、増減があった場合のみ報告してください。

【例】17時15分に避難者数の増減があった場合、18時にまとめて報告する。

※対応職員欄が不足する場合は、余白もしくは裏面に記入してください。

避難所日誌

No. _____

避難所名	
------	--

記録日	特記事項（苦情、引継ぎ等）	措置の概要	記録者

食 料 ・ 物 資 依 頼 伝 票

依頼日時		年 月 日 AM・PM 時 分			
避難所名				避難所 担当者 名	
食 料	避難者用	食(うち軟らかい食事 食)		月 日	
	在宅被災者用	食(うち軟らかい食事 食)		朝食分・昼食分・夕食分	
	合計	食(うち軟らかい食事 食)		※朝・昼・夕食毎に作成	
	その他の依頼内容				
災 対 処理欄	調達 (□にチェック)		配送 (□にチェック)		担当
	□備蓄品	月 日	□職員・ボランティア	月 日	
	□発注業者 (業者名:)	月 日	□発注業者	—	
物 資	品 名		サイズ	数量	備 考
災 対 処理欄	調達 (□にチェック)		配送 (□にチェック)		担当
	□備蓄品	月 日	□職員・ボランティア	月 日	
	□発注業者 (業者名:)	月 日	□発注業者	—	

被災者台帳

台帳 No. 記入責任者
年 月 日 災害
罹災証明 No.

被災場所	曾於市						
被災世帯状況	続柄	氏名	性別	生年月日	年齢	通学先（学年）等	被害の状況
	世帯主		男・女				☐ 死亡 ☐ 行方不明 ☐ 重傷 ☐ 軽傷
							☐ 死亡 ☐ 行方不明 ☐ 重傷 ☐ 軽傷
							☐ 死亡 ☐ 行方不明 ☐ 重傷 ☐ 軽傷
							☐ 死亡 ☐ 行方不明 ☐ 重傷 ☐ 軽傷
家屋被害状況	所有関係	□持家 □借家（所有者名） □貸家					
	罹災程度	☐ 全壊 ☐ 半壊 ☐ 一部損壊 ☐ 床上浸水 ☐ 全焼 ☐ 半焼 ☐ 部分焼 ☐ 床下浸水					
救助等	☐ 避難所 ☐ 応急仮設住宅 ☐ 食品給与 ☐ 飲料水 ☐ 生活必需品 ☐ 医療 ☐ 助産 ☐ 住宅応急修理 ☐ 学用品 ☐ 埋葬 ☐ 遺体の検索 ☐ 遺体処理 ☐ 障害物の除去 ☐ その他（ ）						
救済等	☐ 災害弔慰金の支給 ☐ 災害障害見舞金の支給 ☐ 災害援護資金貸付 ☐ 生活福祉資金貸付 ☐ 市災害見舞金の支給 ☐ 義援金の配布 ☐ 市税等の減免 ☐ その他（ ）						
【特記事項】							

被災証明交付申請書

曾於市長 様

※ 太線枠内を記入してください。 令和 年 月 日

申請者 (窓口に来られた方)	住 所	
	電話 ()	
	ふりがな 氏 名	被災者との関係 ☐ 本人 ☐ 同居の親族 ☐ その他 ※ その他の場合は委任状が必要
この証明書の用途	税控除・保険請求・その他 ()	
証明必要数	() 通	

被災証明書の交付について、次のとおり申請します。

被災者 (申請者と同じ場合は記載不要)	住 所 ふりがな 氏 名	電話 ()
被災した物件 の所在地など	(申請者の住所と同じ場合は記載不要) 曾於市	
	☐ 住家 ☐ 非住家 ☐ その他 ()	
被災日時	令和 年 月 日 () 午前・午後 時頃	
被災原因	☐ 台風 ☐ 暴風 ☐ 豪雨 ☐ 崖崩れ ☐ 地震 ☐ その他 ()	
被災状況		
添付書類	☐ 被害状況の写真 ☐ 被害場所の地図 ☐ 修復費用の請求書、領収書又は見積書 ☐ その他 ()	

被災証明書

上記のとおり、被災したことを証明します。

第 号
令和 年 月 日
曾於市長 五位塚 剛

被災証明書について
1 この証明書は、民事上の権利義務関係に効力を有するものではありません。

※ 住家の場合で被害の程度を証明する必要がある方は、罹災証明願を提出して下さい。
※ 落雷の場合、損害状況が外観から判断しにくく、故障の原因が落雷によるものかどうか市で判断出来ません。また、落雷の発生時間と場所の特定が困難なため、落雷による証明書の発行は行っていません。

罹 災 証 明 願

令和 年 月 日

曾於市長 様

下記のとおり罹災したことを証明願います。

申請者住所	〒 住所		
(フリガナ) 申請者氏名	⑤	連絡先	(自宅・携帯・その他< >)
罹災者	① 申請者(下記に記載の必要はありません) ② 世帯員 ③ 親族 ④ その他()	建物	☐ 所有者 ☐ 非所有者
罹災者(本人以外) ②～④該当の場合	住所 氏名	連絡先	
世帯構成員	氏 名	続 柄	年 齢

罹災状況	罹災年月日	
	罹災場所	曾於市
	罹災物件	☐ 持家 ☐ 貸家 ☐ 借家(所有者名:)
	罹災の原因 および罹災状況	
	添付書類 (提出できる場合)	☐ 被害の状況が分かる写真 ☐ 建物図面
住家※の被害の 程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない (一部損壊)	
浸水区分	☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水 ☐ その他	

※住家とは、現実に住居(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

罹 災 証 明 書

年 月 日

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏 名	続 柄	年 齢

罹災原因	
------	--

被災住家※の 所在地	
住家※の被害の 程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない (一部損壊)
浸水区分	

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

住家以外の被害	
---------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

曾於市長

印